

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月25日

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	国の定めた基準以上の広さを確保し、部屋をパーテーションで区分けするなどの工夫を行い、適切なスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0	国の基準を満たした上で基準以上の人員数を配置し、児童発達管理責任者、保育士、児童指導員等の有資格者を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	現在、車椅子利用の児童の受け入れはありますが、玄関やトイレには段差・狭さがあり、手すりやスロープ等の設置がなく、バリアフリーとなっていないため状況に応じて職員が見守り、付き添っています。 児童に 分かりやすいよう、学習する場所、運動する場所、遊びの場所と視覚的にも環境や情報が分かりやすいよう配慮して います。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	毎日の掃除は欠かさず、定期的に換気と消毒を行っています。 生活空間・遊ぶスペース・療育スペース・運動スペースを分けており、児童が活動によって切り替えられるように工夫しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	年 1 回アンケートを実施し、そのご意見を全職員で周知・検討し、業務の改善に努めております。 アンケートのご協力ありがとうございます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	定期的に社内研修を行っています。 例年は地域の研修にも参加し、職員間で共有しておりますが、今年度は コロナ禍のため、参加機会はありませんでした。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	定期的にアセスメントを実施し、 個別支援会議ではその内容を元に支援内容を話し合い、計画を作成して います。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	職員全体会議で活動プログラムを話し合い、チームで立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	活動プログラムの固定化や偏りが起きないよう職員間で協議し、内容を検討しています。 特に運動プログラムは月に一回話し合いの機会を設け、児童の成長に合わせたプログラを立案しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	児発管がプランを作成、平日は運動遊び・学習支援を中心とし、休日や長期休暇は 集団活動や様々な行事を取り入れるように工夫してバランスの取れた支援ができるように工夫しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	子どもの発達やニーズに合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎朝必ず打ち合わせをおこない、 その日の利用児童の支援内容や職員の役割分担を確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	送迎等があるため毎日全員での打ち合わせは難しいですが、支援終了後には定期的に療育の担当ごとに引き継ぎや、ケース検討会を開催し、 情報共有に努めています。	支援終了後の打ち合わせは送迎等で難しいですが、翌日の朝礼などで全職員で気付くべき重要事項を共有しています。 今後とも次回の支援・活動に活かせるよう職員間で情報の共有、共通の理解に努め、支援にあたってまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	日々の療育内容は当日に記録できるように努めています。支援内容や当日の体調、情緒等も記録し、振り返りに活用できるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	定期的な保護者様との面談等で個々の状況に合わせて支援計画の見直しの必要性を判断し、目標設定などを 勘案しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0	支援はガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、児童の特性や年齢、季節も考慮した構成となるように心がけています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	児童の状況に精通している児童発達管理責任者が担当者会議に参加して います。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	送迎時の機会に当日の子どもの情緒や体調面を話し合ったり、学校が発行している行事予定を頂いたりと、情報共有に 努めていきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	必要に応じて、関係機関と連絡を取り合い、情報共有や総合理解をしています。	関係機関とは、担当者会議や関係者会議を通して総合理解に努めてい き ます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	6	該当する児童がいない為、提供には至っていません。	今後、卒業する児童が移行することとなった場合、移行シートの作成や 十分な情報提供ができるようにして い きます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	事業所を併用している子どもについては担当者会議で情報共有に努め、相談支援専門員を通して様子を聞いたりしています。 また、必要な場合は見学を行い、支援方法の統一等を行っております。	必要に応じて他の児童発達支援センターと連絡を取り合い、児童の様子を共有したり、支援方法の統一を図ったりしています。 他の児童発達支援センターへの見学を行う等の連携を図っています。 研修へは参加できていないのが現状です。 今年度はコロナウイルスの影響で研修会が少なく、足を運ばませんでした。今後、積極的に研修に参加させていただき、職員の専門性の資質向上に努めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	今年も新型コロナウイルスの感染予防 のため外部交流の機会がありませんでした。	コロナ終息後、保護者様のご意向をいただいたうえで、交流機会を探っていきます。
保護者への説明責任等	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	6	今年もコロナ禍のため研修の参加機会をもてませんでした。	コロナ終息後、積極的に協議会に参加し、連携の強化に努めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	連絡ノートでのやりとりや、送迎時の機会もしくは場合によっては面談や 電話相談を活用して、保護者様との情報交換をおこない、子どもについて の共通理解を深めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	保護者様の子育てのお悩みやご相談に寄り添う支援を心掛け、保護者様に支援内容を深くご理解いただき、お悩みの解決手段や、児童の成長の ためにご家庭でできる支援や協力に取り組んでいただいています。	家庭連携の機会にお話しいただく機会も増えており、今後もご相談について丁寧に傾聴し、一緒に解決をめざす事業所から積極的に働きかけに 努めてまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時には運営規程、利用者負担等について丁寧な説明に努めています。 また、契約時のみならず保護者様の ご要望がある時は、再度説明を行っております。	
	31	保護者からの子育てのお悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	保護者様の子育てのお悩みやご相談に寄り添う支援を心掛け、保護者様に支援内容を深くご理解いただき、お悩みの解決手段や、子どもの成長の ためにご家庭でできる支援や協力に取り組んでいただいています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	今年は父母の会を開催する機会を設けることができませんでした。	コロナ収束後、保護者様のご意向に 配慮しながら、保護者様同士や職員 との交流の機会を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	日々の利用に関するご意見やご相談については、迅速に対応できるよう 配慮しています。 苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。 また年 4 回「COMPASS だより」を季刊発行しています。 連絡帳では行事予定やお知らせ、毎月の様子を写真と共に事業所便りとして掲載、配布しております。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	個人情報に関する書類は鍵付き書庫で保管し、取り扱いには十分配慮して います。 情報使用時には必ず保護者様に同意を得ています。	
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	児童には状況や特性に合わせた伝達方法を心がけ、保護者様にはわかりやすいご説明や情報伝達を心がけています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	0	6	コロナ禍でもあり、現時点では事業 所行事に地域住民を招待する企画は実施できていません。	コロナ終息後、保護者様のご理解や プライバシーに配慮しながら地域交 流の機会を検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	各種マニュアルや対策は、事業所に掲示するとともに、定期的な訓練の実施に基づいて見直しを行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要訓練を行っている	6	0	定期的に避難訓練を実施しております。訓練では子どもの特性に応じた参加の方法を考慮しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	事業所内で職員研修を実施し、虐待防止について周知に努めています。	
	41	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	原則として契約書で身体拘束は禁止 となっております。 ありますが、止むを得ず必 要となる場合には、児童や保護者様に十分なお説明をおこない、承諾を得て計画に記載するようにしています。	今後も原則として身体拘束は行わない 基本姿勢を守り、まずは沈静化できるよう、いろいろなパターンに合わせた 声かけや、気分の切り替えを促せるよう努めてまいります。 但し、緊急と認められる『部屋からの 飛び出し』『自傷行為』『他児童へ危害を加える可能性がある』など、児童の 命に関わる事象が起きた場合に限り、やむを得ず抱いた状態で移動させるなどは、保護者様に十分説明をおこない、同意を得て、個別支援計画に記載するようにしてまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	アレルギーの有無に関してはアセスメントの段階で詳しくお聞きしています。 アレルギー反応が出た際の対応をお話させていただきます、共通理解に努めています。 また、昼食時は机を分けて職員の見守りを強化しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	事業所の内外で起こった事例を記録し、定期的な振り返りを行い、 情報共有・認識一致に努めています。	